

青い月の謎

二〇一〇年九月十八日

茨木 孝雄

『月光微韻』

月の夜の

羅漢柏の

なんとなき

春の幽けさ。

月の夜の

煙草の煙

匂のみ

紫なる。

星よりも

ほのかなものは

みどり児のほほえみ、

ついたち二日の月。

露けきは月の夜にして、

竹の根の

竹煮草の葉。

月の夜の

影するものの真近さ

花ちり方の椎の木

北原白秋（一九二二）

人声の

近づきて、

明るか、

月の野茨。

月の夜の

白い白い木樅に

影さすものは

笹の葉。

そよかせにも

小竹のゆるるか、ゆるるか、

月の夜の雀よ。

月の夜の

雫するもの

霽れやらぬ椎の狭霧。

月照る野路の明さにて、

など啼きやまぬ、

鶉よ。